

「物部川の生き物とふれあう日夏休み！！物部川であそんで学ぼう！」

(主催：物部川 21 世紀の森と水の会、国土交通省高知河川国道事務所

共催：物部川流域ふるさと交流推進協議会、アクア・リプル・ネットワーク、物部川清流保全推進協議会)

令和 7 年 7 月 29 日（火）に物部川左岸で、小学生約 15 名が参加し、物部川「川の学校」が実施されました。

午前は、「河川愛護月間（7 月）」の行事の一環として、高知河川国道事務所が中心となり、水質の簡易調査および水生生物調査を実施しました。川に入る前には、正しくライフジャケットを着用。パックテスト（採取した水で試薬を溶かし、水の色の変化で水中の物質の濃度を検証）と生息している水生生物の調査を通じて、水の状態を判定しました。

午後は、物部川 21 世紀の森と水の会が中心となり、シュノーケリングによる川流れ体験やエビ玉漁体験などの川遊びを実施しました。エビ玉漁体験では川エビやカニ、ゴリなどの「川の幸」をたくさん捕まえ、あっという間に終了時刻となる熱中ぶりでした。

川での安全対策や楽しい遊び方を学び、物部川への理解を深めることができた 1 日になりました。

また、今年は主催、共催団体のスタッフに加えて、流域内外から 7 名の学生ボランティアがスタッフとして参加しました。若い世代の参画により、今後も魅力あふれる物部川を後世につないでいけるよう取り組みます。

